

# 東方経済フォーラム（プログラム）

2015年8月30日時点

（2015年9月3～5日開催 於：ウラジオストク 極東連邦大学ルースキー島キャンパス）

青欄：全体会合

黄欄：二国間セッション

赤欄：メインプログラム「アジア太平洋地域の将来」

緑欄：メインプログラム「ロシア極東の力」

紫欄：メインプログラム「ロシア極東における新規経済政策」

灰欄：分野別会合その他

## 9月3日（木）

9:00 – 10:30（開幕）

赤①【分科会】極東－アジア太平洋地域における新たな可能性

緑①【分科会】農業コンプレクス

分野別小会合（航空機製造、観光）

投資プロジェクトに関するプレゼンテーション（水産、都市開発）

休憩

11:00 – 12:30

緑②【分科会】電力開発：極東連邦管区の社会経済成長の基礎（発電電、輸出）

緑③【分科会】漁業及び水産養殖

分野別小会合（航空運輸、陸上運輸）

投資プロジェクトに関するプレゼンテーション（畜産、鉱山業、観光）

休憩

13:30 – 15:00

赤②【分科会】アジア太平洋地域の投資有望先としての先進経済発展区（TOR）及びウラジオストク自由港

緑④【分科会】観光

分野別小会合（金鉱業、漁業、メガサイエンス）

投資プロジェクトに関するプレゼンテーション（運輸、食品産業、経済特区）

休憩

15:30 – 17:00	赤③【分科会】アジア諸国の資本市場：ロシア極東における新しい金融システム
	赤④【分科会】知識経済から知識社会へ
	緑⑤【分科会】地下資源：採掘及び精製
	分野別小会合（造船、農業）
	投資プロジェクトに関するプレゼンテーション（観光、港湾、エネルギー）
	休憩
17:30 – 19:00	赤⑤【分科会】ダイヤモンドビジネスに新規参入するアジア太平洋地域企業
	緑⑥【分科会】都市開発
	投資プロジェクトに関するプレゼンテーション（現代的生産、石炭、鉄鋼石）

<b>9月4日（金）</b>	
9:00 – 10:30	紫①【分科会】投資プロジェクトに対する国家支援及び金融支援メカニズム
	緑⑦【分科会】運輸：インフラと物流
	分野別小会合（災害対策投資）
	休憩
11:00 – 12:30	投資プロジェクトに関するプレゼンテーション
11:00 – 13:00	<b>青【全体会合】東方経済フォーラム開幕式典</b>
13:00 – 15:00	緑⑧【分科会】石油及びガス：アジア太平洋地域のエネルギーブリッジ
13:30 – 15:00	投資プロジェクトに関するプレゼンテーション
14:00 – 15:30	赤⑥【分科会】人材育成とリーダー
	紫②【分科会】輸出振興及び国際市場進出
	緑⑨【分科会】持続的発展に向けて：ビジネスと生物多様性
	紫③【分科会】先進経済発展区（TOR）及び経済特区
	分野別小会合（北極海航路、石油化学）
	休憩
16:00 – 17:30	<b>【二国間セッション】日ロビジネスラウンドテーブル</b>
	緑⑩【分科会】現代的生産及び技術
	赤⑦【分科会】ロシア極東のイノベーション的発展
	分野別小会合（林業、エネルギー関連投融资）

17:30 - 19:00	投資プロジェクトに関するプレゼンテーション
18:00 - 19:30	赤⑧【分科会】ユーラシア経済同盟とシルクロード経済ベルトの共同プロジェクト
	緑⑪【分科会】林業コンプレクス
	ストルイピン・クラブ (*露、日、中、韓、印などの政治家、官僚、企業家及びエコノミストがビジネス障壁の問題や共同プロジェクトの発展について議論する場) 分野別小会合(養殖、イノベーション)

\* (9:00-15:00) 上記プログラムに並行して APEC 教育分野会合が開催。

<b>9月5日(土)</b>	
9:00 - 10:30	露中知事フォーラム(輸送インフラ、道路建設、国境協力、アムール川保護)
	紫④【分科会】ロシア極東における外国投資家の権利及び利益保護
	休憩
11:00-12:30	【二国間セッション】露中二国間対話
	【二国間セッション】露韓二国間対話・ビジネスフォーラム
	投資プロジェクトに関するプレゼンテーション
	休憩
13:30 - 15:00	紫⑤【分科会】地域リーダー：投資家に対する保証
	【二国間セッション】露韓二国間対話・朝鮮半島情勢
	極東連邦管区における官民パートナーシップに関するセッション
<b>(閉幕)</b>	

\* (9:00-15:00) 上記プログラムに並行して、東方政策をテーマとした学術・文化報告セッションも開催。

全体会合及び分科会概要

## 1. 全体会合

(2) 青「東方経済フォーラム開幕式典」 (4日 11:00-13:00)

## 2. 二国間セッション

(1) 日露二国間対話：「日ロビジネスラウンドテーブル」 (4日 16:00-17:30)

(モデレーター：村山・ロシアNIS貿易会会長、レピク・実業ロシア会長)

【概要】ラウンドテーブルでは、「Made in Far East of Russia」、つまりロシア極東での日本製品生産をテーマとして議論が行われる他、医薬、農業、水産及び極東での都市開発といった新規分野への日本からの投資可能性についても話し合われる。

(2) 露中二国間対話 (5日 11:00-12:30)

【概要】露中の戦略的関係の発展を念頭に、製造業の近代化、二国間貿易関係及びインフラプロジェクト等について議論。

(3) 露韓二国間対話・ビジネスフォーラム (5日 11:00-12:30)

【概要】露韓経済関係の展望についてのビジネス対話。

(4) 露韓二国間対話・朝鮮半島情勢 (5日 13:30-15:00)

【概要】未定

## 3. メインプログラム「アジア太平洋地域の将来」

(1) 赤① 極東－アジア太平洋地域における新たな可能性 (3日 09:30-10:30)

【概要】アジア太平洋諸国の経済成長は市場拡大を促しユーラシア統合に関するプロジェクト実現に影響を与えている他、グローバル市場での直接投資においても重要な役割を果たしている。この発展はロシア極東の各経済部門にどのような影響を与え、またどのような長期的展望や協力をもたらし得るのか。

(2) 赤② アジア太平洋地域の投資有望先としての先行発展領域 (TOR) 及びウラジオストク自由港

(3日 13:30-15:00)

【概要】多くのアジア太平洋地域諸国は企業に対する優遇措置を通じて輸出産業の強化を図ってきた。最近では、ロシアを含む主要経済地域では投資及び輸出促進のために新施策が講じられている。アジアでの経験を念頭に、特区制度の可能性について議論する。

(3) 赤③ アジア諸国の資本市場：ロシア極東における新しい金融システム (3日 15:30-17:00)

【概要】金融インフラの構築は投資ポテンシャルをさらに高める効果を生む。ロシア極東はアジア太平洋地域での金融サービス市場においてニッチな存在となり得る。ロシア極東の発展のためには製造業だけでなく、金融業の誘致も肝要である。

(4) 赤④ 知識経済から知識社会へ (3日 15:30-17:00)

【概要】アジア太平洋諸国ではその経済成長とともにグローバル人材の育成が急務となっている。ロシア、日本及び韓国では、多額の国家予算が科学分野に投じられ、その比率は米国等の他の先進国に比肩するか、それ以上となっている。単なる「世界の工場」ではなく、世界の「頭脳センター」へと移行していく。アジア太平洋地域の将来の知的リーダーは、科学技術・教育部門だけでなく、グローバルガバナンスにおける「新常态」の作り手として、また経済協力及びビジネスにおける新しいモデルを提示する者として活躍することになる。これを念頭に、この分科会では、人材育成、イノベーション、産官学協力、グリーン経済等の新規経済分野、ユーラシア地域への投資ポテンシャル等、広範なテーマを議論の対象とする。

(5) 赤⑤ ダイヤモンド事業におけるアジア太平洋地域の新たなプレーヤー (3日 17:30-19:00)

【概要】アジア太平洋地域は過去 15 年間に世界有数のダイヤモンド市場を形成し、今後の中国及びインド市場の拡大により、世界最大の市場である米国を追い抜く見込みである。ロシア極東は世界のダイヤモンド原石採掘の約 4 分の 1 を占めることから、企業及び国家の戦略的な対応が必須である。

(6) 赤⑥ 人材育成とリーダー (4日 14:00-15:30)

【概要】多くのアジア太平洋諸国が安い労働力を活用して成長してきたが、現在では優秀な人材がよりよい生活を求め、世界に目を向け始めている。人材誘致のためには経済的な満足だけでなく、質の高い生活環境の保証が必要とされている。労働市場、企業の人材確保戦略、移民政策等について議論する。

(7) 赤⑦ ロシア極東のイノベーション的發展 (4日 16:00-17:30)

【概要】ロシア極東でのイノベーションプロジェクトとそれへの投資誘致について議論。

**(8) 赤⑧ ユーラシア経済同盟とシルクロード経済ベルトの共同プロジェクト (4日 18:00-19:30)**

【概要】ユーラシア経済同盟とシルクロード経済ベルトは、世界の地経学的構図を変化させ得る巨大プロジェクトである。これらイニシアチブはユーラシア地域において、インフラのみならず、技術及び人的資本への投資を活性化させる。ロシア極東はこの実現において主要な位置を占めることになる。

**4. メインプログラム「ロシア極東の力」**

**(1) 緑① 農業コンプレクス (3日 09:00-10:30)**

【概要】アジア太平洋地域諸国ではその成長と市場拡大に伴い、食料需要が高まっている。広大な農地を擁するロシアはその需要増に応えることができる。ロシアは穀物及び飲料水の主要な供給者となりえるのか、輸出のためのインフラ及び制度は十分に整備されているのか、環境保護や食品の安全性の確保をいかにすべきか、議論する。

**(2) 緑② 電力開発：極東連邦管区の社会経済成長の基礎（発送電、輸出） (3日 11:00-12:30)**

【概要】ロシア極東の発展のためには安定した電力供給が必要である。現在、ロシア極東ではその整備が進められており、新規発電所及び送電設備の建設の他、代替エネルギーの利用促進が行われている。電力需要の大きい中国や日本で新しいエネルギー源の導入が目標とされており、自然エネルギー利用のポテンシャルが大きいロシア極東にもその波及が期待される。電力分野政策、協力の展望、再生可能エネルギーや新技術の導入等について議論する。

**(3) 緑③ 漁業及び水産養殖 (3日 11:00-12:30)**

【概要】ロシア極東の水産業は世界の水産市場において主要な位置を占めており、養殖や加工部門での発展促進により、さらに多くの利益を展望することができる部門である。ロシア国内市場及びアジア太平洋諸国市場での水産需要、水産業への投資誘致や諸政策について議論する。

**(4) 緑④ 観光 (3日 13:30-15:00)**

【概要】日中韓からの旅行者を対象とした市場は、世界で最も成長の早い観光市場である。これを念頭に、ロシア極東は新たな観光資源を提供すべく、そのポテンシャルを活かした新しい施策が求められている。

**(5) 緑⑤ 地下資源：採掘及び精製 (3日 15:30-17:00)**

【概要】ロシア極東は、高価な金属や鉱石の宝庫である。同地域では既に、新規鉱床の開発や輸出促進を目的にインフラ整備が大規模に進められている。アジア太平洋諸国市場での需要展望、金属産業への投資誘致や諸政策について議論する。

(6) 緑⑥ 都市開発

(3日 17:30-19:00)

【概要】ロシア極東の諸都市は、地域人口を増やすためにも魅力を高める必要がある。これら都市は、アジア太平洋地域諸国の都市と移民誘致の面で競争関係にもある。現在、極東の主要都市ではウラジオストクのルースキー島やハバロフスクの大ウスリースキー島のように都市インフラの刷新が行われており、今後の発展が期待される。

(7) 緑⑦ 運輸：インフラと物流

(4日 9:00-10:30)

【概要】ロシア極東が経済発展を確固たるものとし、また貿易の中継地となるためには輸送インフラの発展が欠かせない。アジア太平洋諸国との協力が運輸分野にどのような影響をもたらすのか、どのような有望大規模プロジェクトがあり得るのか等の点について議論する。

(8) 緑⑧ 石油及びガス：アジア太平洋地域のエネルギーブリッジ

(4日 13:00-15:00)

【概要】ロシア極東の石油ガス産業は世界市場において主要な位置を占めており、精製部門での発展促進により、さらに多くの利益を展望することができる部門である。ロシア国内市場及びアジア太平洋諸国市場での石油ガス需要、石油ガス産業への投資誘致や諸政策について議論する。

(9) 緑⑨ 持続的発展に向けて：ビジネスと生物多様性

(4日 15:30-17:00)

【概要】生物及び景観の多様性の保護に向けた国家政策、環境保護に係る企業の社会的責任などについて議論する。

(10) 緑⑩ 現代的生産及び技術

(4日 16:00-17:30)

【概要】ロシア極東は世界で最も高度な工業生産地域（日中韓）と隣接している。ロシア極東には造船、航空及びロケット製造部門など、ポテンシャルの大きい分野が存在している。これを念頭に、東アジア諸国との生産協力の可能性、それが及ぼす影響、ロシア極東における生産現地化などについて議論する。

【概要】ロシア極東の林業は世界市場において主要な位置を占めており、今後の発展促進により、さらに多くの利益を展望することができる部門である。アジア太平洋諸国市場での需要や輸出可能性、林業への投資誘致や諸政策について議論する。

## 5. メインプログラム「ロシア極東における新規経済政策」

### (1) 紫① 投資プロジェクトに対する国家支援と金融支援メカニズム

(4日 09:00-10:30)

【概要】ロシア極東におけるインフラ及びエネルギー等の開発に関し、どのような企業、事業あるいはプロジェクトを支援対象とすべきなのか、またどのような支援が効果的なのか。加えて、外部の投資資金を呼び込むためのどのようなモデルが想定されるのか、議論する。

### (2) 紫② 輸出振興及び国際市場進出

(4日 14:00-15:30)

【概要】ロシア極東の非資源部門に関し、その輸出ポテンシャルを広げるべく、投資及び融資に係る支援制度や輸出信用保険制度を活用する必要がある。また、輸出に関するワンストップサービスを拡大することも重要である。成功事例を検討し、どのような支援制度が望ましいか議論する。

### (3) 紫③ 先進経済発展区（TOR）及び経済特区

(4日 14:00-15:30)

【概要】先進経済発展区と経済特区の設置はロシア極東での投資リスクを軽減させる。これにより、インフラ投資を行い易くなり、また政府側の窓口が一括化されることにより手続きにおいて生じる労力も軽減される。この新しい貿易及び投資促進制度は、投資誘致に係る魅力を向上させ、その他アジア太平洋地域諸国の類似施設との競争に打ち勝つこと可能とする。これら制度について説明し、その展望について議論する。

### (4) 紫④ ロシア極東における外国投資家の権利及び利益保護

(5日 09:00-10:30)

【概要】ロシア極東におけるアジア太平洋諸国企業との共同プロジェクトが増加していることを念頭に、どのような投資保護税度が望まれているのか、また企業活動推進のための税制優遇や利益保全のための司法手続きに関してどのような成功例があるのか話し合う。



【概要】投資融資においては、ロシア極東各地の指導者の役割が重要となる。これを念頭に、投資プロジェクトに対する支援、望ましい地域リーダー及び知事のあり方等について議論する。

(了)